

1 設置の根拠

北海道立道民の森条例(平成2年7月23日北海道条例第16号)に基づきます。

2 「道民の森」の基本理念

人と森林のかかわりは深く、森林は人間が生存するための基本条件である自然そのものであり、 地域社会の共有財産として、つくり守られてきた歴史的・文化的遺産です。

「道民の森」は「道民に、森林とのふれあいのなかで、森林のもたらす恩恵を享受する機会を 提供することにより、自然と共に生きる心を培う。」を基本理念としています。

3 施設の概要

「道民の森」は、昭和60年の「国際森林年」を契機に、北海道が所有する約1万2千ヘクタールの森林の中に整備した森林総合利用施設です。

当別町内に神居尻地区のほかに4箇所、月形町内に月形地区1箇所の全部で6箇所の施設地区を配置し、道民が森林とふれあうことができる場を提供しています。

4 位置及び区域

(1) 位置

当別町 (石狩管内)、月形町 (空知管内)

(2) 区域

道月	民の森	11, 889ha		
内	当	別	町	10, 230ha
訳	月	形	町	1, 659ha
施設地区面積(内数)				1. 244ha



(3) 施設地区

「道民の森」は、6つの施設地区で構成されており、それぞれの地区の特色を活かして自然体験、森林体験学習や森林づくり活動などに活用しています。

地区名(供用開始年)	特色	主な施設	面積(ha)
神 居 尻(平成2年)	中核となる総合施設	総合案内所、森林学習センター、宿泊施設、林間キャン	550
	登山・自然体験・体験学習・植樹	プ場、多目的広場、デイキャンプ場、登山道、水源の森	
	ゾーン	植樹ゾーンなど	
青山ダム(平成5年)	森林づくり活動の場	森林ボランティア団体等の活動フィールド	43
牧 場 南(平成4年)	森林づくり活動の場	森林ボランティア団体等の活動フィールド	74
一番川(平成5年)	キャンプを主とした自然体験ゾーン	案内所、オートキャンプ場、自然体験キャンプ場、体感	158
		の森、登山道、五右衛門風呂など	
月 形(平成5年)	体験学習文化活動ゾーン	案内所・陶芸館、木工芸館、学習キャンプ場、バンガロ	285
		ーなど	
青山中央(平成15年)	道民の森情報発信・植樹ゾーン	案内所、植樹広場	134
	合	<u></u>	1, 244





【青山中央地区】

【神居尻地区】

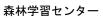




案内所 総合案内所

ディキャンプ場 (BBQ広場)







森林学習センター (体育館)



森林学習センター (研修室)



宿泊施設 (こもれび棟)



(宿泊施設に併設)



BBQコーナー (宿泊施設に併設)

【一番川地区】





【月形地区】







ver. 2023. 01 - 2 -

5 管理運営

(1) 管理運営の内容及び体制

利用者の安全の確保及び楽しく快適な利用のために、施設の維持管理、イベントの開催など来園者へのサービスを実施しています。

平成18年度からは指定管理者制度を導入し、現在、(一財)北海道森林整備公社(道民の森管理事務所)を指定管理者に指定し、道と協定を結び効率的な管理運営業務を行っています。

施設管理:財産管理、大規模修繕など 一 北海道直営 利用管理:協働の森づくり活動の推進、土地使用等の行為許可など 管理運営 施設管理:園内の管理・清掃、芝生等の植物管理、建物・設備の維持管 指定管理者 理など (協定による) 利用管理:イベント企画・開催、施設の運営、利用指導、予約受付、森

づくり活動の支援、学校等へ森林環境教育プログラムの提供

6 利用実績

(1) 「道民の森」の開園期間

地 区 名	開園期間(開園日数)	備考
神居尻、青山中央、月形	5月1日~10月31日(184日間)	自然条件等により、
一番川	5月1日~ 9月30日(153日間)	一部の施設で開園期間を
牧場南	6月1日~10月31日(153日間)	変更する場合があります。

(2) 「道民の森」来園者数の推移

令和4年度の「道民の森」は、新型コロナウイルス感染症対策を継続しながら3年振りに開園期間を通じて営業しました。

開園中は、昨年度まで休園等で中止していたイベント「山菜の日」や「登山&高山植物観察会」も開催しました。また、自粛されていた企業等の植樹活動や団体の行事にも徐々に再開の動きが見られました。

しかし、連休や夏休み等の繁忙期の天候不順の影響を受けて、キャンプ場のキャンセルが相次いだことなどから、来園者数は伸び悩みました。

(単位:人)

年 度	神居尻	青山ダム	牧場南	一番川	月 形	青山中央	合 計
H 2(1990)	19,573	_	_	_	_	_	19,573
H 5(1993)	80, 184	36,693	12,886	28, 924	29, 316	_	188,003
H10(1998)	106,639	52,684	22, 233	39, 389	31, 878	_	252,823
H12(2000)	122, 918	49,049	27, 808	39, 996	31,605	_	271, 376
H15(2003)	105, 107	53, 122	26,063	37, 841	37, 796	1, 119	261,048
H20(2008)	93, 389	10, 377	13, 373	36,067	36, 259	33, 367	222,832
H25(2013)	74,026	7, 335	12, 406	17, 682	22, 565	26, 909	160,923
H26(2014)	77, 389	6,828	15, 483	20, 254	20, 926	26, 982	167, 862
H27(2015)	71, 414	7, 241	19, 290	20, 721	20, 569	27, 495	166, 730
H28(2016)	64, 511	_	4, 194	19, 241	19, 575	25, 570	133,091
H29(2017)	61,778	_	7, 348	17, 017	22, 149	25,096	133, 388
H30(2018)	60,859	_	6,560	13, 400	24, 547	24, 783	130, 149
R01(2019)	64, 957	_	5,947	14, 222	24, 444	26, 174	135, 744
R02(%1)	48, 750		6,028	16, 325	20, 792	21, 442	113, 337
R03(%2)	35, 195	_	2, 546	9, 726	12,607	13, 338	73, 412
R04(2022)	52, 378	_	5, 137	10,649	23, 835	21,093	113,092

(※1) 令和2年度は、5月を休園 (開園日数151日間)

(※2) 令和3年度は、5月16日~6月20日、8月15日~9月30日を休園 (開園日数101日間)

7 「道民の森」における主な取り組み

(1) 森林とふれあう機会の提供

ア イベントの開催

森林とのふれあいの機会の確保と施設の利用促進のため、季節にあわせた自然観察会やキ ャンプ体験会など、来園者が参加しやすい内容のイベントを開催して、森林への理解の促進 に努めています。





しいたけホダ木づくり (5月)

ノルディックウォーキング(5~10月、4回)







健康講座(漢方·薬用植物健康講座)(5月)

山菜の日(5月)



稚魚(ヤマベ)の放流(6月)



親子でキャンプ入門(7月)



キノコの日 (9月)





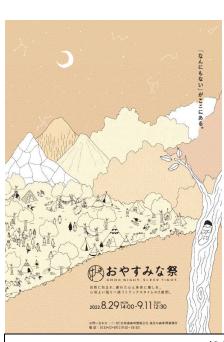


登山と高山植物観察会(5月)

ver. 2023. 01

イ サービスの充実

森林散策、木工、陶芸など、さまざまなことを体験してもらうため、インストラクター・ボランティアを配置し、指導・案内を行っています。また、夏休み明けには自然の景色や音色、香りを感じながらリラックスしたキャンプを行える「おやすみな祭」を開催するなど、季節毎の道民の森を楽しんでいただけるよう工夫しています。





陶芸体験(月形地区)



ステンドグラス体験 (夏休み自由研究支援プログラム)



静かなキャンプを楽しめる「おやすみな祭」

ウ 自主的な活動の場の提供

道民が自主的に企画・開催するイベントや研修会など、さまざまな活動の場を提供しています。







ホーストレッキング(水源の森)

- 5 - ver. 2023. 01

(2) 青少年の学習機会の確保と支援

ア 学校等の団体を対象とした森林環境教育の実施 未来を担う子供たちに、森林から何かを感じ、学びと ってもらうため、学校等の利用に際し「森林環境教育プログラム」を提供しています。

〇プログラムを実施した小・中学校(令和4年度)

ľ						
	学校数	利用人数	プログラムの内容と利用数			
	16校	2,274人	内 容:川の水生生物観察、森のビ			
			ンゴ、生き物観察ほか			
			利用数:130プログラム			



川の水生生物観察





林業体験(間伐)

イ 一般の来園者を対象とした森林環境教育の実施 来園者の方々に、森林と人々の生活や環境との関係についての理解と関係を深めてもらうため、道民の森の活用促進のため組織された「道民の森ボランティア協会」が森の観察会などの森林環境教育を行っています。

〇「道民の森ボランティア協会」の実績(令和4年度)

ボラン	ティア	利用人数	摘 要
人	数		
158	人	1, 222人	森の観察会に協力





森の観察会

(3) 協働による森林づくり(水源の森づくり)の推進

神居尻地区に広がる牧野跡地(未立木地 135ha)において、森林の復元による水源かん養機能の回復等を目的とした「水源の森づくり」を道民の参加・協力により進めています。

ア 協定による森林づくり(平成20年度~)

森林づくり活動に関する協定の締結により、道が企業・団体にフィールドを提供するとともに、指定管理者と連携して植樹指導やスコップの貸し出し等を行うことで、企業・団体の自主的な森林づくり活動を支援しています。 環境保全に対する意識の高まりなどから これまでに

環境保全に対する意識の高まりなどから、これまでに 19の企業・団体が道と協定を締結されました。

イ エコ・チャレンジの森 (平成21年度~)

牧野跡地の一部に誰もが気軽に植樹できる「エコ・チャレンジの森」を設定し、個人の植樹体験や小中学生等の森林環境学習の場として利用されています。

ウ 北海道森づくりフェスタ (北海道植樹祭) 道などが主催する「北海道森づくりフェスタ」 (北海道 植樹祭) の会場としても利用されています。

〇水源の森の植樹実績 (平成20~令和4年度)

参加	植栽面積	植樹本数
人数		
19協定	44. 92ha	93,803本
12,943人		
5, 459人	11. 20ha	22, 348本
2,610人	4, 11ha	7,600本
21,012人	60. 23ha	123,751本
	人数 19協定 12,943人 5,459人 2,610人	人数 19協定 12,943人 5,459人 11.20ha 2,610人 4,11ha



社員と家族による森林づくり



植樹体験



8 沿革

- ・ 1985(昭和60年) 「国際森林年」を契機に、道民の森構想計画の検討を開始
- 1986(昭和61年) 「道民の森構想計画」を策定

【 第1期工事 1987~1993(昭和62年~平成5年)】

- ・ 1987(昭和62年) 神居尻地区の施設整備に着手
- ・ 1989(平成元年) 「道民の森基本計画」を策定
- ・ 1990(平成 2年) 神居尻地区の開園

『
書山ダム·牧場南·一番川·月形地区の施設整備に着手

- 1992(平成 4年) 牧場南地区の開園
- ・ 1993(平成 5年) 青山ダム・一番川・月形地区の開園

【 第2期工事1994~1998(平成6年~10年)】

- ・1994(平成 6年) 「道民の森施設整備計画」を策定し、神居尻地区を中心とした施設整備に着手
- ・ 1997(平成 9年) 神居尻地区宿泊施設の一部を供用開始

【 第3期工事2001~2003(平成13年~15年)】

- ・ 2001(平成13年) 青山中央地区の施設整備に着手
 - "青山中央地区において、協働の森づくり開始
- ・ 2003(平成15年) 青山中央地区の開園
- ・ 2006(平成18年) 指定管理者制度を導入
- ・ 2009(平成19年) 月形地区の工芸館が焼失
- ・ 2010(平成20年) 神居尻地区水源の森において、協働の森づくり開始
- ・ 2011(平成21年) 月形地区の木工芸館が供用開始
- ・2015(平成27年) 「道民の森」の活用方針を策定、各地区の活用形態を見直し
- ・ 2020(令和 2年) 開園30周年を迎える
 - " 神居尻山の避難小屋を改修

